

会 議 録

|               |  |
|---------------|--|
| 会議の名称         | 第5回浮き城のまち景観賞審査委員会（第1回）   |
| 開催日時          | 平成22年9月15日（水）<br>開会：午後2時00分 閉会：午後4時15分   |
| 開催場所          | 行田市役所3階・305会議室   |
| 出席者（委員）<br>氏名 | 青木秀昭 大澤賢一郎 持齋康弘<br>滝沢布沙 増淵文男 村田直哉<br>（五十音順・敬称略）  |
| 欠席者（委員）<br>氏名 | 宮本伸子   |
| 事務局           | 橋本都市整備部長<br>まちづくり推進課 風間課長、青山主幹、瀬尾主査、横倉主事   |
| 会議内容          | ① 委嘱状の交付<br>② 委員自己紹介<br>③ 制度概要説明<br>④ 議事<br>〔委員長及び職務代理者の選出、審査対象作品の紹介<br>意見交換、1次審査採点表集計、結果発表〕   |
| 会議資料          | （資料名・概要等）<br>① 次第<br>② 委員名簿<br>③ 規約等一式（表彰要綱、実施要領、審査基準、1次審査点数評価表）<br>④ 資料1「制度概要」<br>⑤ 資料2「審査対象作品一覧・採点表」<br>⑥ 資料3「審査対象作品写真」<br>⑦ 参考資料「これまでの受賞作品」 |
| その他必要<br>事項   |  |

| 発 言 者   | 会議の経過（議題・発言内容・結論等）   |
|---------|--|
| (事務局説明) | <p>～ 開 会 ～</p> <p>1 委嘱状の交付</p> <p>2 委員自己紹介、事務局職員紹介</p> <p>3 制度概要説明</p> <p>資料1「制度概要」を用いて、制度の主旨や目的、審査対象、審査方法、今後の日程等について説明。</p>                         |
| 司会      | <p>4 議事</p> <p>■ 委員長及び職務代理者の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施要領の規定に基づき、委員の互選により、委員長の選出をお願いしたい。</li> </ul>                             |
| 持齋委員    | <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局案があれば提示をお願いする。</li> </ul>  |
| 司会      | <ul style="list-style-type: none"> <li>前回開催時にも委員長を務めていただいた経緯を考慮し、ものづくり大学の増淵先生にお願いできればと考える。いかがか。</li> </ul> <p>～賛成～</p>                               |
| 司会      | <ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、委員長は増淵先生にお願いしたい。</li> <li>続いて、委員長に職務代理者の指名をお願いする。</li> </ul>   |
| 増淵委員長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本日は欠席だが、建築士として数々の実績をお持ちの宮本委員を指名させていただきたい。</li> </ul>  |
| 事務局     | <ul style="list-style-type: none"> <li>その件について、事務局より補足をさせていただく。宮本委員には前回職務代理者を務めていただいた経緯もあり、委員長より指名された場合には今回も引き受けていただけるか意向を確認し、承諾をいただいている。</li> </ul> |
| 増淵委員長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、職務代理者を宮本委員にお願いする。</li> </ul>   |
| 増淵委員長   | <p>■ 審査対象作品について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本日は審査対象作品について意見交換を行い、最後に1次審査の採点を行うが、その前に審査対象作品について、事務局より紹介をお願いする。</li> </ul>              |
| (事務局説明) | <p>審査対象作品紹介・説明</p> <p>審査対象16作品について、スライドを用いながら、応募者の推薦理由、概要を説明。</p>  |
| 増淵委員長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、本日は最後に採点を行うため、その前に審査対象作品について、意見交換を行いたいと思う。</li> </ul>  |
| 持齋委員    | <ul style="list-style-type: none"> <li>その前に1点確認したい。制度概要には、「所有者、設計者、施工者」を基本的に表彰するとあるが、もし公共施設が選ばれた場合は表彰対象者は</li> </ul>                                 |

|       |   |
|-------|---|
| 事務局   | <p>設計者、施工者のみになるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ということになる。また、制度改正について話し合いを行った際の委員さんの意見では、無理に表彰を行わなくても、受賞の周知といった形でも十分PRになるのではないかと、といったご意見もあった。</li> </ul>   |
| 持齋委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表彰対象者がなし、ということもありうるのか。</li> </ul>  |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その通りだが、表彰は最大2作品となるため、事務局としては、建築物1作品、その他1作品が選ばれば、それが理想と考えている。</li> </ul>  |
| 増淵委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さきほど作品の説明があったが、建築年不詳のものも多い。①山下館については昭和28年に寄付を受けたということだが、建築年は分かるのか。</li> </ul>  |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付を受ける前のことは、市にもデータがなく、お答えできない。①山下館に限らず、古い建物については、所有者に確認しても大まかな年代しか分からないケースが多い。設計者、施工者についても不明の場合が多く、その場合は分かりうる範囲での表彰とさせていただいている。</li> </ul>   |
| 青木委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物とそれ以外で1点ずつというのが理想ということだが、それであれば部門を分けて別々に採点した方が絞りやすいのではないかと。私はあらかじめ点数を付けてきたが、少し変えようとも思っている。</li> </ul>   |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然景観が対象でなかった頃にも、部門別にしたことはある。ただ、応募作品が少なかった場合に対応が難しいこともあり、現在は部門を設けていない。</li> </ul>   |
| 大澤委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採点方法だが、行田らしさで15点、美しいまちづくりで15点、合計30点ということだが、少し漠然としていて分かりづらいところがある。</li> </ul>   |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規約等一式6ページの審査基準を見ていただきたい。このような項目分けを設けてはいるが、そもそもこの基準は賞の創設時は存在せず、単に30点満点で採点していた。しかし当時の委員より、「全く基準がないと採点が難しい場合があるため、採点を縛るほどの強い規則ではなくとも、ある程度の拠り所が欲しい」という意見を受けて設けたものである。したがって、項目ごとの採点が難しければ、30点満点中何点という考え方で採点してもらって構わない。</li> </ul> |
| 大澤委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象外と判断すれば0点でも構わないのか。</li> </ul>  |
| 事務局   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構わない。</li> </ul>   |
| 滝沢委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回から対象が広がり、様々な作品があるが、行田市が今置かれている現状を考え、観光と一体となってメッセージを発信しなければならないと思う。それを考えると、既に2点、頭の中で浮かんで来ているものがある。</li> </ul>   |

|       |  |
|-------|--|
| 増渕委員長 | <p>何故かという、今の行田市に求められているからである。その辺りを考えると、建築物とそれ以外で1点ずつという表彰方法は好ましいのか、考えるところがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本日のところは単純に、得点の多いもの10作品を選べばいいのではないか。</li> </ul>  |
| 村田委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 採点については、市民と観光客の距離感も考えていく必要があると思うが、この基準に縛られることなく、個人的な考え方で採点していいと思う。</li> </ul>   |
| 増渕委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 委員のみなさんも色々な立場はあると思う。私の立場で言えば、御三階櫓は本当にこれでいいのか、復元されたものなのか、違うものなのか、考えてしまうところはある。</li> </ul>  |
| 滝沢委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 事務局に確認だが、御三階櫓は復元されたものなのか。</li> </ul>  |
| 橋本部長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 復元ではなく、再建ということになる。</li> </ul>   |
| 滝沢委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 素材や形、スケール面ではどうなのか。</li> </ul>   |
| 橋本部長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 細部では形や素材も違うであろうし、縦横のバランスとしても厳密には違うと思う。「かつてこのような三階櫓があった」というイメージを元に再建されたものと考えていただいて良いと思う。</li> </ul>  |
| 持齋委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 埼玉県では20年以上景観賞を開催してきた。その中で委員さんからは必ず、「景観とは何か」について考えるべきだとする意見が出る。景観はモノではなく、「眺めるという行為を通して得られる像」であり、写真の構図に近いものであるから、対象が歴史的、建築的に優れているという点だけでなく、眺める場所と対象物の関係性が評価されなければ、景観の評価にはならないのではないかと。この辺りは写真では表現が難しいので、現地に行かなければ分からない。また、住民や観光客をしつらえるようなおもてなしがされているか、この点も良く考えるべきではないか。</li> </ul> |
| 青木委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• その点は、審査対象が広がったことにより、本来の「景観賞」になったと思う。また建築物と自然景観から1点ずつ選ぶ、というのも公平という感じはする。</li> </ul>  |
| 村田委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 資料を見た第一印象では、本当に建物が多いと思った。個人的なイメージでは、景観はモノではなく環境全体で、建物が周辺とどのように調和しているかということも大切だと思う。実際に行ってみることが重要だと感じている。</li> </ul>  |
| 滝沢委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 作品を1つずつ順に見ていくという方法はどうか。</li> </ul>  |
| 増渕委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• それでは、1番の作品から順に見ていこうと思う。</li> </ul>  |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>滝沢委員</p>  | <p><b>【① 山下館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に行ってみたが、写真で見るよりは、屋根が建造物としてユニークだった。今後のまち興しの中で活かさないか、ということは感じたが、景観賞として相応しいか、と言われると疑問はある。</li> </ul> |
| <p>持齋委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推薦理由のとおり、玄関の造りが重厚に見えるが、集会所ということでお客さんを迎える感じは残念なならないと思う。</li> </ul>   |
| <p>増淵委員長</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長い間維持管理を行っている点は感心できる。</li> </ul>  |
| <p>増淵委員長</p> | <p><b>【② 古墳公園の茅葺き古民家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これは古墳公園の中にあるのか。</li> </ul>  |
| <p>事務局</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の敷地内にあり、誰でも自由に見学できる。</li> </ul>   |
| <p>滝沢委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私としては、情感が全く感じられないように思う。</li> </ul>  |
| <p>大澤委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔の農家住宅のサンプルのようなものだから、それも仕方ないのかと思う。</li> </ul>   |
| <p>持齋委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この写真は非常に良く撮れているが、花（桜）が強調され過ぎている。</li> </ul>   |
| <p>事務局</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集期間が春だったこともあり、確かに花が強調された作品も多い。それもあって公正な評価ができるよう、事務局でも写真を用意したので、スライドを参照してほしい。</li> </ul>                                  |
| <p>持齋委員</p>  | <p><b>【③ 忍城三階櫓】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史の再現性には疑問があるとはいえ、単純に景観ということを考えると良いといわざるを得ないのではないか。目の前に広い水面があり、それも構図を良くしている。</li> </ul>           |
| <p>滝沢委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行田市を代表する景観として、写真を見ると改めて素晴らしいと感じる。</li> </ul>  |
| <p>増淵委員長</p> | <p><b>【④ 古鉄道レール橋】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時の市長、または役所の方が買い集めていて、それを使用したという話を聞いたことがある。</li> </ul>  |
| <p>持齋委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さきほど、この2基だけ当時の姿を残していると説明があったが、この2基だけ手が加えられていない理由が何かあるのか。</li> </ul>   |
| <p>事務局</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地を訪れると分かるが、この2基は非常に狭い道沿いにあり、地元の人以外の往来が少ないためではないかと思われる。</li> </ul>  |
| <p>青木委員</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞記者という立場からみると、危険箇所ということであれば、景観より利用する人の生活を優先したい気持ちはある。危険性を孕んだものを景観賞として選ぶのはどうか、という思いもある。</li> </ul>                        |
| <p>増淵委員長</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それは難しいところで、例えば、茅葺き屋根は火災に弱いから残さない方が良いということになる。この辺りはそれぞれの文化を許容すべき部分も</li> </ul>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>あると思う。</p> <p><b>【⑤十万石行田店】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下部になまこ壁が見られるが、これは当時からあったのか。</li> <li>大正時代に流行したことがある。その頃付けられたのではないか。</li> <li>この建物は無傷で残っているようだが、移築したものなのか。移築でなければ、125号の拡張にかからなかったのだろうか。</li> <li>詳細は解らないが、引いている可能性も考えられると思う。</li> </ul> <p><b>【⑥川端酒造】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい意見とは思いますが、自販機が多少目に付くところがあると思う。</li> </ul> <p><b>【⑦とある会社】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これは下中条にある染色工場のものか。</li> <li>その会社の道路を挟んだ反対側にある。工場の稼動が盛んだった頃は、周辺の建物や道路も赤かった。この蔵の北に工場があるから、北風により赤みがかって見えるのではないか。</li> </ul> <p><b>【⑧内田家長屋門】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これは今現在使われているのか。</li> <li>今も人が住んでいる。保存状態も大変良く、手前の木とも調和している。残したい風景だと個人的には思う。</li> </ul> <p><b>【⑨鎧をまとった土蔵】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に見てきたが、本来は石造りのようだが、周囲を鉄板で覆われており、風雨にさらされて錆びついている。言ってみれば現代アートの範疇と思う。こういうところに景観や情感を感じる人もいるのだな、と感じた。</li> </ul> <p><b>【⑩ものづくり大学】</b></p> <p><b>【⑪行田ガス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少し洒落た民家、趣味で作った民家という感じがある。</li> <li>建築的にはかなりの配慮があると感じるが、おもてなしという意味で考えれば、建物の前にベンチや植栽がないのが寂しいと感じる。</li> </ul> <p><b>【⑫丸墓山古墳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さきほど日本最大という説明があったが、どのような意味で最大なのか。</li> <li>円墳としての規模、直径が最大という意味である。</li> <li>この古墳に咲く桜は、本当に自慢ができる、誇りにすべきものだと思う。</li> <li>ここの桜は、県や市以外に管理をしている団体があるのか。</li> <li>特にないと思う。</li> </ul> |
| 持齋委員  |   |
| 青木委員  |   |
| 増淵委員長 |   |
| 事務局   |   |
| 滝沢委員  |   |
| 滝沢委員  |   |
| 大澤委員  |   |
| 増淵委員長 |   |
| 大澤委員  |   |
| 滝沢委員  |   |
| 青木委員  |   |
| 持齋委員  |   |
| 増淵委員長 |   |
| 事務局   |   |
| 滝沢委員  |   |
| 持齋委員  |   |
| 事務局   |   |

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p>増渕委員長<br/>大澤委員</p>           | <p>【⑬池守の星川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キタミソウはここに咲くのか。</li> <li>・ ちょうどこの近辺に白い小さな花が咲く。春先に咲いて、その後水が引けると秋に再度、年に2回咲く。花は小さいが、たくさん咲くので見栄えは良いと思う。</li> </ul>   |
| <p>増渕委員長</p>                    | <p>【⑭水城公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は行田では、ここが一番素晴らしいと思う。これが東京であれば、道路の横にすぐガードレールが出来てしまう。その点でここは素晴らしいと思うが、昨日見たら水辺に柵が付いていたので、気になるところである。また、面白い点として、この公園はお年寄りが非常に多い。年配の方が集まる公園というのは珍しいと思う。</li> </ul>               |
| <p>持齋委員</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真を見る限りだと、維持管理のレベルも高いことが伺える。</li> </ul>   |
| <p>大澤委員<br/>青木委員</p>            | <p>【⑮テクノホルティ園芸専門学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園芸の学校にしては殺風景に思える。</li> <li>・ 煙突にしても、少し唐突な印象がある。工場地帯の煙突ならば趣があることもあるのだが。写真を見ても、煙突を見せたいのか、手前の広場を見せたいのか、今ひとつはっきりしない。</li> </ul>   |
| <p>増渕委員長<br/>青木委員<br/>増渕委員長</p> | <p>【⑯金沢製菓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根に目を引かれる建物だと思う。</li> <li>・ 確かに派手な屋根だが、耐久性という意味ではどうなのだろうか、と思う。</li> <li>・ これで一通り見たと思う。各自採点表に記入をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">[採点表記入→集計→集計結果発表（別紙参照）]</p> |
| <p>事務局</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果はご覧のとおりとなる。順位付けした結果、10位の作品が同点のため、11作品が残ったということになる。</li> </ul>   |
| <p>増渕委員長</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さんにとって順当な結果だろうか。11作品となったが、これで決定となる。事務局にお返しする。</li> </ul>   |
| <p>(事務局説明)</p>                  | <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回審査委員会を10月下旬から11月上旬に、現地審査と最終審査を同日に行うことを確認のうえ、日程調整票を配布して終了。</li> </ul>   |
| <p>～ 閉 会 ～</p>                  |  |